

# ぶらり社南～舞屋町編～

## ③江守用水

深さが1メートルほどあり、通学路に沿って流れているため増水時期には危険を感じている。



## ①舞屋石

青石が採石されケンチ石として利用された。  
間知石【けんちいし】→石積みに使用される四角錐形の石材。底面が表に出るように積み、石垣、護岸、擁壁(ようへき)など、日本では古くから用いられている。

この辺



## ②舞屋町公民館

自治会活性化の中心場所。6月には「ふれあい広場」、10月の第一日曜日には老若男女が集う一番賑やかな祭りが開催される。毎月第2日曜日には、主に高齢者の居場所として「舞カフェ」が行われている。



## ⑤野田堤防

大町から舞屋までの区間に堤防が作られていた。江端川が氾濫すると、この堤防が水害を防ぐ大事な役目を果たしていたそうです。今では、すっかり開発され、跡形もありません。

## ④釣り堀

江端川が氾濫するたびに、ため池ができる、フナが流れてきていた。このあたり一帯は釣り堀がたくさんあって、企業による「釣り堀大会」が行われ、とても賑わっていた。なまずも多く釣ることができて、食べられていたそうです。

## ⑥熊野神社

往古江守庄7ヶ村の鎮守であったと伝えられる。祭神—速玉男神、事解男紙、伊弉册神  
尊像—「木造、阿弥陀如来坐像」  
像高34糧、膝張26.5糧、通肩衣の袖衣を着ておられる上品下生の阿弥陀如来坐像で、彫成の手法からみて、地方作像であるが、室町末から藩政初頭にかけての像によく見られる手法である。



## ⑦舞屋雨水ポンプ場

○敷地面積:2,870平方メートル  
○供用開始:平成12年4月 ○放流先:江端川  
河川排水ポンプ場は、大雨で支流や雨水幹線等の流れが悪くなつた場合、大雨で市街地が浸水しないよう、河川管理者と連絡を取りながら、ポンプを運転して支流や雨水幹線等の雨水を河川(本流)へ放流します。

